



飲食店でも家庭でも しっかり防ごう、食中毒！

令和2年6月24日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)

感染症発生動向速報

(令和2年第25週分・6月15日～6月21日)

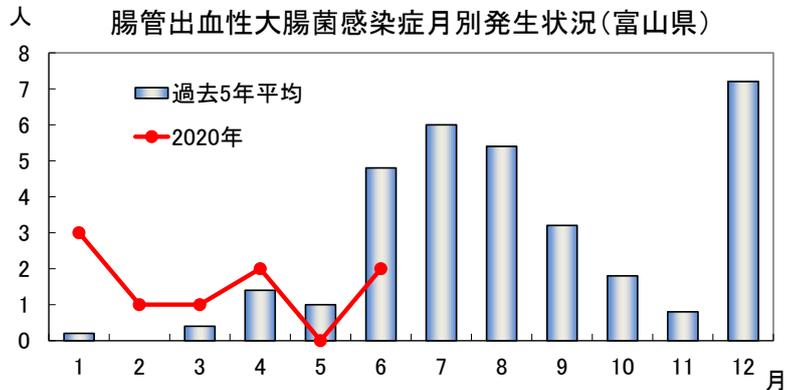
《インフォメーション》

●腸管出血性大腸菌感染症

6月23日現在、県内の腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症の報告数は9件で、前年同時期(10件)とほぼ同数となっています。近年、国内では無症状病原体保有者を含むEHEC感染症が約3,500～3,900例報告されています。一年を通して発生しますが、例年、夏季に多く報告される傾向があるため、これからの季節は特に注意が必要です。

EHECは、主に牛などの反芻動物の糞便中に認められます。本菌はその糞便を介して、牛肉やその他の食品、井戸水などを汚染します。菌が付いた食品を食べると、3～5日後に発熱や激しい腹痛、水様性の下痢、血便、吐き気、嘔吐などの症状が現れます。一部の患者は、合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症を併発して重症化し、死亡する場合があります。特に、抵抗力の弱い子供や妊婦、高齢者は重症化しやすいため、注意が必要です。

感染予防の基本は手洗いです。また、生肉あるいは加熱が不十分な肉、内臓肉の喫食を避けることが重要です。下記のことを気付けて感染予防に努めましょう。



- ① 調理の際、食事の際、トイレの後は石けんと流水で手を洗う
- ② 生肉やレバーなどの内臓肉は、内部まで十分に加熱してから食べる
- ③ まな板などの調理器具は、「加熱食材用」と「生食用」で使い分ける
- ④ 食材は調理までの間、低温(10℃以下)で保存する

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 2件 (①30歳代、女性 ②80歳代、男性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①60歳代、女性、O157、VT1VT2
②80歳代、男性、O157、VT型不明)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (第21週診断分：60歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.38 (↑)	2.21
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14 (↑)	0.59
3位	突発性発しん	0.45 (↓)	0.48
4位	咽頭結膜熱	0.07 (↓)	0.14
	伝染性紅斑	0.07 (↑)	0.00
	ヘルパンギーナ	0.07 (↓)	0.10

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第25週 令和2年6月15日～令和2年6月21日）

分類	疾患	今週報告分（第25週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症							5	5	17	7	193	227
二類感染症	結核	1			1		2	7	2	19	5	18	51
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			2			2			5		4	9
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							8				1	9
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							1		5	1	5	12
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	3	8
	急性脳炎							2				1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		2		4	7
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		2		10	14
	破傷風											2	2
	百日咳											24	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	890	567	1,190
RSウイルス感染症								2	5	26	4	36	73
咽頭結膜熱		2					2	59	56	90	8	71	284
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.50	4	15		12	33	96	165	1,031	161	1,242	2,695
感染性胃腸炎		0.50	1.33	1.88		1.20	1.14	646	369	478	234	1,364	3,091
水痘		21	14	19	1	14	69	29	29	48	16	88	210
手足口病						0.13	0.03	18	1	13	4	41	77
伝染性紅斑						1	1	9	26	28		158	221
突発性発しん		0.20	0.07			2	2	16	14	92	32	63	217
ヘルパンギーナ		0.25	0.33	0.88		0.40	0.45	35		8	1	3	47
流行性耳下腺炎		2					2		3	3	4	7	17
流行性角結膜炎		0.50					0.07		5	7	2		14
細菌性髄膜炎										1			1
無菌性髄膜炎											1	5	6
マイコプラズマ肺炎								1	5	16	16	9	47
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）								42	5	28	73	53	201

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。